

英霊剣豪七番勝負 番外
番 天台の陰陽師
師
" ;
" ;

ベータアルファΣ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

江戸幕府は、更なる対策を講じることとした。

注意・英霊剣豪七番勝負ネタバレあり。

目次

英霊剣豪七番勝負	番外	天台の陰陽
師	—	1
キャスターのステータス	—	8

英靈劍豪七番勝負 番外”天台の陰陽師”

「しゅ、主殿！ この莫大な大蛇の量は僕達だけでは少しばかり……クッ！」

「……何のツ！ この程度！ つて言いたいところだけれど、急いで城に向かわなきや行けないのにこれはキツいかも……ッ！」

何処を見ても大蛇。大蛇。大蛇。辺り一面の大蛇の群れにはいかな宮本武蔵、風魔小太郎、千子村正、加藤段蔵といえども対応仕切れず危機に陥つてしまい、マスターである藤丸立香は彼らの危機に対し、心配し声を上げる。

「小太郎！ 武蔵ちゃん！」

そこに一人、近づいて来る鎧武者が居た。

「——ふむ、お困りのようだ」

彼の声を聞き、藤丸立香が振り返るとそこには柳生但馬守宗矩の部下で左近と呼ばれていた男が居た。この絶望的な激戦の場所に、侍衆がまだ生き残っていたことに立香はつい驚きの声を上げてしまう。

「左近さん!？」

立香の驚愕の声に振り返った村正も左近に気づく。そして、苦い顔をして叱るように左近に話しかけた。

「島原の乱で武功を挙げたと言われる左近某か、何故此処に来た？ お前じゃこいつらには敵わなえ、むしろ足手まといだ」

村正に足手まとい呼ばわりされた左近は符を何処からか取り出し、振るう。すると、周りを囲んでいた大蛇達が一瞬で引き裂かれていたのだ。そして左近は村正にニヤリと笑いかける。

「なっ……!？」

「ふ。足手まといと来たか。これでも?」

「今の、陰陽の術だな。お前、何もんだ？ 左近某が陰陽術を嗜んでいるなんて、儂は聞いたことねえぞ」

村正の疑問に左近は答えるわけでもなく、一人頷き、呟く。

「そうだな、そろそろ頃合いか」

そして、左近の周りに風が起こり始め――。

「――我が名は左近某に非ず。そも、侍衆に非ず。我が名は智樂院天海。徳川の陰陽を司る者なり」

そこには、法衣に身を包んだ老翁が一人居た。

南光坊天海。初代將軍にして、戦国三英傑が一人、徳川家康の側近。そして、江戸幕府の宗教、朝廷外交などを一手に受けた持った天台宗の僧侶。そのような重要人物がこの事件に向向いてることに驚く武蔵。しかも、後数年で南光坊天海は死去する年代になる為、最晩年の時期なのだ。それ故に100歳を超える高齡である天海が良く出張つて来たものだな、と感心もあつただろうが、驚愕が優つた。

「な、南光坊天海!? 金地院崇伝、林羅山と並んで初期江戸幕府の重鎮中の重鎮じゃない! 何故此処に!?!」

「何故、何故など分かりきつたこと。柳生但馬守では妖術に対応するのは手に余ると判断したまでのことよ。奴は劍術無双ではあるが、それはあくまで劍に限るが故に。相模国などの被害状況から鑑みるに、ワシ自身が赴くことが正解であると判断した」

そう、柳生宗矩はあくまで劍豪。魔術や呪術に出会う機会も無く、仮に出会つたとしてもその様な外法と切つて捨てるだろう。柳生宗矩を派遣した三代將軍徳川家光は、普段柳但と呼んで親しくしている家臣が少しばかり心配になつた。何故なら徳川家光自身も呪術には詳しくない。だからこそ、念には念を入れ徳川の呪術のエキスパートである天海が派遣される事になつたのだ。

「さあ、さあ。此処の魔性どもはワシが全て引き受けようぞ。行くが良い、星見の者達

よ

左近として、天海は彼らカルデアのマスターと宮本武蔵を名乗る女性の英靈劍豪との死合を見ていて”明神切村正”の方が倒し易いと判断していたのだ。その為、天海は本来ならば天海が妖術師に対するところを藤丸立香達に任せ、此処で大量に湧き出る魔の者共を足止め、殲滅し彼らをサポートすることにした。

「ありがとう……でも南光坊さんも無理しないで！」

心配そうに一人残る天海を見ながら厭離穢土城へと向かっていく藤丸らを傍目に、天海は久々の戦いに口角を釣り上げる。

「ふ、世界を救ったとはいえ若僧に心配されるとは……久方ぶりだが、ワシもまだまだいけるということを証明してみせよう……！」

天海は大量の大蛇を相手に再び何処からか符を、先程とは違って大量に取り出して――陰陽術を発動させる。

「では、我が最大の術式、江戸を、徳川を守る為の術を使うとしよう。この乱の首謀者は徳川に仇なす者であるが為に。――四神守護起動、急急如律令！」

すると、天地が揺れた。そして江戸の民のみ気づかないまま、厭離穢土城から遠く離れた江戸が眩く光り輝き出す。そしてその輝きは天に昇り、頂点に至ったかという程で数多に分かれて。

此処に、天海がいる付近に降って、敵を消滅させてゆく。その光の砲撃により、少し、ほんの少しばかりではあるが怯んだ亡霊達に対し天海は不敵に笑いながら宣戦布告をする。

「——さて、さて、さて。では、殺ろうか。魔性畜生供！」

ここに、一方的な殲滅戦が始まった。



「カルデアの現出は失敗しましたが、サンプルとしては良いデータを残せたのでは？
何しろ失われた歴史をようやく見出すことに成功したのですからね!!」

崩れた城のある城下町のすぐ近くの山で、肉食獣染みた男が誰かと会話していた。側から見たら奇妙な会話だ。その男は相手が何処にも見えないのに一人でぶつぶつと喋っているのだから。男は続けて言う。

「この下総は元より歪んでいます。滅ぼされた世界、選定事象に非ず。並行世界？　こ

れは近いですが違うでしょう。では何か？ そう、この下総は人類史であつて人類史では無いのです。異なる星の神がその異なる目で観測した世界——特異点とは異なる異界なのですから！ 如何です？ 如何です！ 興味深い事例でしょう、サタン様！

……ああ、いえ。サタン様というのは余りにも滑稽過ぎますね。仮初めの名ではありませんが、妖術師殿がお気に入りになられた様子だったのでそのまま用いていたわけですが、^{????????}とはいえ、拙僧も些かおふざけがすぎました。失礼しました。我が愛おしきお方、様

芦屋道満が一人嗤つていると、突然その場に道満を切り裂かんとする風が吹いた。道満は辛うじて避け、吹いてきた方向を見る。そこには江戸を守る者、天海が居た。

「■■■■■■様とは何者だ？ そのな陰陽師——いや、芦屋道満」

道満がこぼした言葉に対する天海の疑問に対して、道満は大袈裟に驚いた表情をして天海に近づいていく。

「おや、おやおやおや！ 徳川の重鎮、天海様ではないですか！ 何故此処にイ？」

「何故。何故に？ それは貴様もわかっているはずよ、元凶。負け犬の癖に、死人の影法師のような者の癖にちよこまかと動きおつて……面倒な」

負け犬。そう、芦屋道満は日本最強の陰陽師安倍晴明のライバルとは言われてはいるが、所詮はいつまでも安倍晴明に勝てない負け犬。絶望的なまでに晴明と道満との実力

差は開いているのだ。そのことを天海という、自分よりも新しい時代の格下と侮っている陰陽師に指摘された道満は憤怒に顔を歪ませる。

「負け犬ウ？負け犬ですか……！ 成る程成る程！ 晴明に拙僧が負けたと言いたいのですね？フウ……フフ。何を馬鹿げたことを！ 彼奴に、晴明に、私は負けてなどいない！晴明如きに負ける私ではない！ ハハハハハハハハ!! あの憎らしい男に私が負けるなどと……あり得ない!! 有り得るはずがない！さて。さてさて！ 御理解頂けたようなので……私を侮辱した罪、その命で償ってもらいましょう……！」

二人の陰陽師は——激突する。

キャスターのステータス

クラス：キャスター

真名：南光坊天海

筋力C 耐久D 敏捷C 魔力A++ 幸運B+ 宝具EX

クラススキル

○陣地作成A

○道具作成B+

スキル

○陰陽術A++

・天海は陰陽のエキスパートであったともされる。松明が無かった時、大量の狐火（鬼火ともされる）で道中を照らしたことがあったとか。なお、天海の陰陽術は密法と陰陽を合わせた独自のものである。ゲーム内効果は自身のアーツ威力と宝具威力を上昇。

○風水A

・天海は風水のエキスパート。風水とは気の流れを物の配置で制御すること。この術と陰陽術で天海は江戸の守りを固めた。ゲーム内効果は味方全体のHP回復と状態異

常回復。

○かごめかごめEX

・ある一説に童謡「かごめかごめ」は天海が明智光秀である事を暗示するものであるとする説があるが……。ゲーム内効果は鬼特攻（吸血鬼含む）を自身に付与。

○黄金律B（徳川埋蔵金）

・天海は徳川埋蔵金について関わっていたとされる。ゲーム内効果なし。

宝具

『しぎよくらくじよう四神大要塞御江戸』

ランクEX 種別：対城宝具

天海が設計した世界有数の人口を誇る大都市江戸そのもの。天海は江戸を守る為に風水、陰陽術、建築術を駆使し、大要塞を作り上げた。それ故に、江戸が危機に瀕した際にその大儀式は発動する。日本全土を江戸から攻撃可能な長距離砲撃や、Aランク宝具の真名解放ですらほぼ無効化する程の防御力を持つ結界などを備えている。

なおサーヴァントの宝具となった場合には内部には南光坊天海が作った式神が侍衆として存在するが、任意で江戸の主人として徳川家康を“東照大権現”として召喚可能（徳川家康が召喚に応じた場合）。そして徳川家康の命により歴代徳川家臣と歴代將軍を召喚し、彼らを強化することができる。なお、召喚した家臣達の宝具の所持について

はマスターの魔力量によって変動する。

ゲーム内効果は敵全体に強力な攻撃（アーツ）、味方全体にランダムで無敵又は回避付与。

く補足く

好きなもの

○クコ飯と納豆汁を混ぜたもの。

嫌いなもの

○嫌いというわけではないが少しばかり織田信長が苦手。

関連人物

○徳川家康

・主君。

○柳生宗矩

・友人。

○織田信長

・苦手な人

○豊臣秀吉

・嫌いな人。

○沢庵和尚

・友人。

く説明く

南光坊天海。

天台宗の僧侶で、徳川家康の側近である。彼は江戸幕府に大きな貢献をした人物として知られるがその半生は謎に包まれている。足利義澄の落胤、明智光秀、蘆名氏の出自、船木兵部少輔彌景光の息子、足利義晴の落胤等々様々な説があるが詳しいことはわかっていない。天海本人も出自を周りに語ろうとはしなかった。